

第九回

# 聖福寺落語会



とき

平成29年**3月19日** (日)  
開演14:00 (開場13:30)

出演

柳家さん喬・露の新治

木戸銭

髷2,500円 / 鬘3,000円

定員

250名 (椅子席)

ところ

聖福寺方丈  
(福岡市博多区御供所町6-1)



■主催 聖福寺、聖福寺世話人会 ■共催 博多さん喬を聴く会

■後援 (財) 福岡文化財団、西日本新聞まちなか支局、博多まちづくり推進協議会、御供所まちづくり協議会

チケット販売・予約  
お問い合わせ

聖福寺 092-291-0775 (9:00~17:00)  
ファックス 092-291-0758 メール zen@shofukuji.or.jp

# 聖福寺開山栄西禅師八百年遠諱大法要

聖福寺は、建久6年(1195)、栄西禅師が鎌倉幕府初代将軍源頼朝公より博多百堂の跡地を賜り、日本で最初に開創された禅宗寺院です。当時の後鳥羽上皇より「扶桑最初禅窟」の勅額を賜り、名実ともに日本最初の禅寺として800年の歴史を刻んでまいりました。

その栄西禅師が入寂されたのが1215年。800年遠諱大法要が行われました。(遠諱とは、50年ごとに行う年忌法要のことを言います。)

創建当初仏殿に安座されていた丈六(4.8m)三世仏(弥陀、釈迦、弥勒如来)が戦火で焼失していましたが、平成24年(2012)9月、数百年ぶりにこれを再興いたしました。

更に、境内には栄西禅師が著した「興禅護国論」の碑を建立(平成26年1月)して、その遺徳を偲ぶ縁といたしました。石碑の裏には、有名な序文「大いなる哉心や・・・」の文字が刻まれています。

仏教離れが広がり始めている今日、皆様におかれましては、この遠諱をご縁に栄西禅師の説かれた禅について改めて触れる機会となりますよう、心から願ってやみません。

柳家さん喬



## 柳家さん喬 やなぎやさんきょう

古典の人情噺や滑稽噺を得意とする実力派。人物描写や背景をていねいに演じ、物語に奥行きと味わいを与える話芸に定評がある。また日本舞踊を得意としており、高座での美しく折り目正しい所作も魅力の一つ。

得意とする演目は「片棒」「そば清」「百川」「井戸の茶碗」「棒鯉」「幾代餅」「天狗裁き」「柳田格之進」「芝浜」など。古典落語のみならず、一番弟子の柳家喬太郎が手掛ける新作落語を演じることもある。小さん門下の柳家権太楼と親交があり、鈴本演芸場や末広亭での二人会は高い人気を集めている。

2006(平成18)年から毎年、アメリカのミドルベリー大学夏期日本語学校に招かれ、落語を通じて日本文化を紹介する活動を展開。2013(平成25)年、『さん喬十八番集成—柳家さん喬独演会』などでの成果が評価され、芸術選奨文部科学大臣賞・大衆芸能部門を受賞した。

### ■プロフィール

1948年8月	東京本所生まれ	1986年	選抜若手演芸大賞真打部門大賞受賞
1967年	五代目柳家小さん入門(前座名 小稲)	1987年	文化庁芸術祭賞受賞
1972年	二つ目昇進 さん喬と改名	1994年	第十一回浅草演芸大賞新人賞受賞
1981年	真打昇進	2001年	落語協会 理事就任
1984年	国立演芸場金賞受賞	2006年	落語協会 常任理事就任
		2012年	芸術選奨 文部科学大臣賞受賞

露の新治



## 露の新治 つゆのしんじ

元来、落語家になりたかったが、「芸人は堅気(かたぎ)の仕事ではない」とのこだわりから、サラリーマンやら家業の手伝いをするが、奈良の夜間中学設立運動に関わり、やりたいことをやるべきだと教えられ、落語家となる。

昭和57年1月1日、露の五郎兵衛に入門して新次→新治に改める。

また、夜間中学設立運動に関わる中で学んだ人権感覚を生かして、「新ちゃんのお笑い人権高座」を口演(大好評)。日本全国、北は北海道から南は九州沖縄まで(本当に!)、人権講演会で駆け回る。

2015年、人権高座の功績が認められ第6回奈良人権文化選奨受賞。同じく2015年、「露の新治寄席」の成果により第70回文化庁芸術祭賞優秀賞受賞。